



さくら組生活発表会

『ウサギとカブトムシとクワガタの たのしいお話』



日時：令和3年12月9日（木）

場所：下中幼稚園 2階 遊戯室

開場：9：20

開演：9：30

※開場まで、ばら組でお待ちください。

お話ができるまで…

第1学期から、虫や動物などいろいろな生き物に興味関心がつよく、友達と一緒に図鑑を見たり、園庭や園外散歩で虫捕りを楽しんだり、友達が連れてきた生き物を虫眼鏡を使ってじっくり観察したりする姿が見られていました。

第2学期が始まると、一人の男の子がワニやヘビを作っていたことがきっかけとなり、サイ、パンダ、キリン、ウサギなどそれぞれ好きな動物を作って動物園ごっこが始まりました。しばらくは、作った動物を見たりエサやりをしたり、サファリバスに乗ったりすることを楽しんでいましたが、ウサギの家の中で「ピョンピョン！」と言いながらニンジンを食べる真似をしたり、ブロックで作ったカブトムシ用の樹液を飲む真似をしたりと、自分たちが動物になりきり表現することを楽しむ姿へと徐々に変わっていきました。“なりきって遊ぶことをより楽しめるように”と、ウサギの耳やカブトムシの帽子などのアイテム作りを投げかけたことでさらにイメージが広がり、夢中になって繰り返し動物ごっこを楽しむようになりました。

そんな中、つき組さんの“子ども同士見る会”に招待してもらい、生活発表会で発表するお話を見せてもらいました。「楽しかった！」と喜び、『つき組さんになったらできるんだろうな。』という憧れを抱いていた子どもたちに、「さくら組さんも、やりたい気持ちがあればやっていいんだよ。」と伝えると「え、そうなの?!」「やりたい!!」「お家の人に見せたい!」と大喜び。「お家の人は何を見てもらいたい?」と聞くと、「ウサギになっているところ!」「カブトムシ!」と今楽しんでいる遊びを見てもらいたいということで、すぐに意見がまとまりました。そこで、子どもたちが楽しんでいるもの、お家の人に見せたいものをもとにお話作りを進めていくことにしました。



<登場人物紹介>

〇うさぎ

ジャンプが得意で、踊ったり料理をしたりすることが大好き！ふわふわのしっぽ、ふわふわの耳がとってもチャームングです。

〇カブトムシ・クワガタムシ

屋間は土の中にもぐっていますが、夜になると出てきていろいろな姿を見せてくれます。かっこよくて強そうな、ツノやアゴが特徴です。

ウサギ

「ピョンピョン」と言いながらジャンプをして移動したり、語尾に“ピョン”と付けて友達と会話をしたりしながら楽しく遊んでいる中で「ウサギさんはジャンプが好きだから、ジャンプする場所を作りたい。」という意見が出てきました。「遊戯室に探しに行かない？」という一人の子の提案により、“ジャンプができるもの”を探しに行き、見つけたのは巧技台。さっそくクラスへ持ち帰りジャンプ遊びが始まると、ウサギだけでなく、クラスみんなの大好きな遊び場となりました。また、「ニンジンがとれる場所を作りたい！」「ジャンプしてとりたい！」という提案から、吊るしたニンジンジャンプしてとる場所も作り、子どもたちのアイディアで、巧技台でのジャンプとニンジンをとる場が合体しました。上手にジャンプをし、ニンジンをとることができるでしょうか？



カブトムシやクワガタたちが土の中にもぐっている姿を見て、「ウサギたちも隠れる場所が欲しい」と、ウサギの家作りも始めました。多い時には8人もウサギたちが入ることから、「大きいのにしよう！」と、大きい段ボールを2つつなげ、みんなで相談して決めた色を塗り、段ボールカッターで窓を作り、ウサギだけでなく、クラスみんなで力を合わせながら、何日もかけてようやく完成しました。家の中には、「ニンジンの絵を飾りたい」と、子どもたちが描いたニンジンや野菜の可愛い絵も飾ってあります。ぜひご覧ください。



家の中では、「料理をしたい」と、野菜を炒めたりジュースを作ったり、ケーキを作ったりして楽しんでいました。発表会当日は、二人一組でそれぞれの工程を進めながらニンジンケーキ作りに挑戦します。みんなで力を合わせておいしいケーキが焼けるでしょうか？



カブトムシ・クワガタムシ

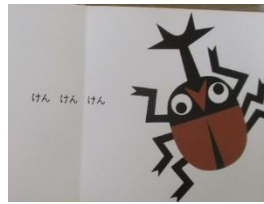
動物園ごっこの中で、井形ブロックを使っていろいろなカブトムシを作ったことから、毎日のようにブロックでのカブトムシ作りを楽しんでいました。「カブトムシは木にいるんだよ。」「樹液が好きなんだよ。」と、カブトムシたちが集まる木を作り、樹液をつけると、作ったカブトムシを木にとまらせたり樹液を食べさせたりして楽しむ姿が見られました。そのうちに、今度は自分たちがカブトムシになりきって樹液を食べたり木に登ったりして楽しむようになっていきました。



なりきって遊ぶことを楽しむ中で、お気に入りのカブトムシの帽子を製作すると、「次はクワガタになりたい」と図鑑を見ながら『ノコギリクワガタ』『マンディブラリスフタマタクワガタ』など気に入ったクワガタにも変身できる衣装を作り、さらになりきって遊ぶ姿へとつながっていきます。「明るいときは、土の中でじっとしてる。」と、土の中に見立てたトンネルに入って身を潜めたり、カビペをしたり、巧技台から羽を広げて飛んだり、カブトムシ・クワガタムシの生態や特徴を捉えながら表現することを楽しんでいました。



また、表現遊びの一つとして、絵本『ほっぴ すてっぴ かぶとむし』の内容に沿って、ケンケンをしたりジャンプをしたり飛んだりすることも楽しんできた子どもたち。「お家の人に見せたい」と、これも披露することになりました。当日、遊戯室入り口に絵本を置いておきますので、子どもたちがどんなことを楽しんできたのか、ぜひ中をご覧ください。



～あらすじ～

あるところに、料理をすることが大好きな、可愛いウサギたちがいました。得意のジャンプをしながら、料理に使うニンジンをとりに行き、ニンジンケーキを作ることになりました。

森の奥ではカブトムシとクワガタが樹液や昆虫ゼリーを食べたり羽を広げて飛んだりして遊んでいました。すると、どこからか美味しそうな良い匂いがしてきました。匂いがする方へ行ってみると、辿り着いた場所はウサギのお家。ウサギたちが作っているニンジンケーキの美味しそうな匂いに釣られてやってきたカブトムシとクワガタは、「一緒に食べてもいい？」とニンジンケーキを食べさせてもらうことにしました。美味しいニンジンケーキをみんなで食べた後、カブトムシとクワガタが大好きな『昆虫太極拳』を最後に踊ります。“カマキリ” “ダンゴムシ” “バッタ” “カメムシ” のポーズがかっこよく決まるでしょうか。

生活発表会のお話ができるまで、子どもたちがどのように遊びを楽しんできたのか、普段の子どもの姿を想像しながらご覧ください。また、子どもたちが頑張っている姿や、上手にできた場面では、大きな拍手をお願いします。

